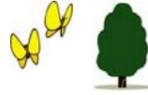




～ ヤマギシだより ～



私は、この村で養豚をやっています。33才で、息子が3才と6ヶ月の2人います。  
先日、職場に上の子を連れて来ました。今回留意したことは、息子を遊ばせ半分ではなく、仕事の場に受け入れてやろうと思ったこと、そのためには、きちんと作業着を身につけさせることです。ヤッケ・長靴・頭にはタオル、と一つ一つ着せてやると、息子がその気になっていくのが分かりました。生活係のお母さんに「謙也、ちゃんとお父ちゃんの言う事をよく聞いて、よく見てやるのよ」と声かけられると、頷いていました。  
自分が担当しているのは繁殖部門——大きな親豚が相手です。こちらは、いつもの事をあたり前にしているんですが、息子にはそのどれも新鮮らしく、聞いてきたり、そこらをウロウロ歩いたり、じーっと親の動きを見ていたり…。  
やってみて気づいたことがあります。まず、家では自分は「パパ」と呼ばれるのに、ここでは「お父ちゃん」だったこと。そして、自分が息子と二人で居ることに違和感がなく、3才の子を一人の人格ある存在として捉えていたように感じたことです。普段家で「遊んでやっている」というのとはちがう感覚です。  
息子をなぜ職場に連れて来ようと思ったかという——自分は実家が兼業農家ですが、親父の仕事を目にする機会など一度もなく、又「勉強しろ」と言われて育ち、畑や田んぼに行った記憶もありません。大学を卒業した後この村に来て、たまたま畜産をやる様になり、今、その答えの無い面白さ・不思議さに惹かれています。この農の面白さを、子どもの感性がみずみずしい、早い時期に体験させてやりたいというのが根底にあった気がします。  
親が公の人として働いている姿を見せてやりたかったし、わが子がその場を共につくる、社会の一員であることを感じられる場を、用意してやりたかったです。  
そして自分は、これからも色々な人を受け入れていける場をつくり、又、共にやっていける自分でありたいなと思います。  
(古坊俊博)



【村のことでの問い合わせは TEL45-5550 (村人窓口) へお気軽にどうぞ】

編集後記

18年度も、残すところあと2ヶ月となりました。広報公聴実行委員会では、まちづくり協議会と市民の皆様の架け橋となるよう、本誌の編集に努めてまいりましたが、現在の編集委員会で発行するのは24号[3月1日発行]と25号[3月30日発行]の2回となりました。コミュニティ壬生野では協議会の出来事のほか、地域の活動やクラブ紹介など地域に根ざしたニュースを随時募集しております。皆様のご投稿をお待ちしております。

また、まちづくり協議会では現在、19年度の事業計画案を審議しています。協議会に対するご要望やご提案頂く事業等がございましたら、まちづくり委員又は事務局までご意見をお寄せ下さい。  
(委員長)

編集委員 居附秀樹 宮田美智子 増田裕充 塚本正子 渡部税子 中林豊 新村由美子  
三根久美子 高橋大輔 梅田佳生 山本眞司

◆◆◆ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◆◆◆

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会  
事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内  
Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL http://www.mibuno.net



# コミュニティ壬生野 第23号



壬生野地域まちづくり協議会広報

平成19年2月1日発行

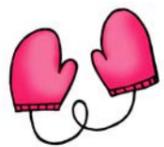
## 第5回運営委員会が開催されました

新年、最初の運営委員会が1月10日に協議会事務所で開催されました。  
この運営委員会は、役員13人(幹事を含む)と地区推薦の委員9人に各専門委員会委員長、地域振興プロジェクト委員(行政支援)を含む27名で構成し、協議会の企画運営、住民周知、事業計画の調整等を総体的に審議しています。  
本年度の運営委員会は、2ヶ月に1回(奇数月)定期的開催しており、今回は5回目の開催となります。今回の議題と審議結果は次のとおりです。

〔審議事項〕

- ① 19年1月から協議会事務局に事務員を配置しました。  
**川東区の『稲森てる代』さんに、お世話いただきます。**  
◇毎週月曜日と水曜日の午後1時～午後5時の勤務が基本となります。  
◇協議会のスケジュール管理、文書管理、施設管理などを担当頂きます。  
◇事務員勤務時間内に、毎週土曜日午前中に開設している『ときめきサロン』図書コーナーの貸出・返却のサービスがご利用いただけます。  

- ② 交通政策の伊賀市への要望について  
昨年、協議会が実施した交通網調査アンケート結果と伊賀市交通計画中間報告を受けて、壬生野地域の交通網等にかかる要望書を作成します。  
◇各種交通機関のネットワーク化と交通拠点(中間ターミナル)の整備  
◇壬生野インター危険箇所の安全確保対策 など  

- ③ 18年度事業計画の調整について  
19年3月までの協議会の活動調整を行いました。  
◇まちづくり先進事例の視察研修(宝塚市)  
◇桜苗木の植樹(地域内の河川敷・公園等)  
◇19年度まちづくり協議会委員選考委員会の設置  

- ④ 19年度事業計画(案)の策定について  
優先事業の選定  
平成19年度は『地域防災事業』を重点事業として提案します。  
※ 安否確認マニュアルの作成、消防・行政・警察・自主防災組織等との連携、図上訓練、避難訓練の実施など各専門委員会を中心に、詳細計画案を樹立してまいります。

# ◆各委員会からの報告◆



## ■ “WAI WAIびおら”のみなさんと“カルタとり” ■

1月13日、壬生の里でいがまち女性の会“WAI WAIびおら”の会員9名と会員のお孫さん1名に壬生野地域まちづくり協議会の人権部会のメンバー4名が加わってカルタ会が行われました。はじめに自己紹介と、日常生活で感じている男女共同参画に対する思いなどを話し合いました。

カルタは徳島県の団体から取り寄せたもので  
 (え)・・・エプロンにあうよ!お父さん  
 (ほ)・・・ほしのように男も女も光ろうよ  
 (み)・・・みんなで分担お母さんの仕事  
 の様な内容で絵は可愛いマンガが描かれたものです。札を取るのにみんなは子どもに返ったように声を出して初笑いをしました。そのあと、いかに家族間の交流や対話が必要かなど話し合っ2時間の有意義な時間を過ごしました。



## 【“WAI WAIびおら”のご紹介】

“WAI WAIびおら”です。いがまち女性グループとして平成12年9月に発足し、ヨチヨチ歩きながら6歳になりました。

元伊賀町の時代に、当時の町長が男女共同参画に深いご理解があり、県下でいち早く女性センターの看板を掲げていただき、そのセンターを拠点とし、有志の者で発足させていただきまして現在に至っております。会員は18名、年代は40歳代から60歳代です。

名前の“びおら”ですが、今、プランターによく植えてある“びおらの花”をイメージしております。一つ一つかわいい花びらがありますが、一つ一つの花が集まれば更に美しく輝き、寒い冬を越す、力強い“びおら”をイメージして名付けました。WAIWAI(ワイワイ)は男も女もわいわい話し合おうということに付けてあります。目的は男(ひと)と女(ひと)が輝くために、私たち自身の資質の向上と、まちづくり参画のお手伝い、又、日常生活における環境問題等への取り組みなどです。

平成12年、17年には男女共同参画社会に関するアンケートを実施し、多数の方々にご協力をいただきました。その結果63パーセントの方から「男女共同参画社会は進めるべき」とのご回答をいただきました。このアンケートをもとに昨年11月30日に伊賀支所と共催で【男女共同参画セミナー】を開催しました。たくさんの方にご参加いただき、意識を高めていただくことで、一歩前進になったのではと思います。

男女がお互いに認め合い、助け合い、パートナーとしてともに輝くまちづくりを、これからもお手伝いしていければと思います。

※現在、会員を募っています。男の方、女の方、年齢に関係なく楽しい会です。是非、お待ちしております。



## ■ 『レザークラフト』に挑戦してみませんか? ■

壬生野まつりで大変好評を得ました『レザークラフト』でのコースター・髪飾り・キーホルダー作りを“ときめきサロン”で開催します。初心者向けの革細工です。お気軽にお出かけください。

\*\*\*\*\*

◇開催日 平成19年2月10日(土)

◇時間 午前9時~12時

◇場所 “ときめきサロン”

壬生野地域まちづくり協議会事務所(壬生の里2階)  
 ◇注意事項 道具はこちらで用意いたしますが、染料が付く場合がありますので、汚れてもいい服装でお出かけください。数量に限りがあります。なくなり次第終了いたしますのでご了承ください。

\*\*\*\*\*



## 掲示板 その1



## ■ がんばれ!!壬生野サッカースクール ■

毎週土・日曜日の午前中、壬生野小学校グラウンドで元気にサッカーをしている子どもたちをご存知ですか?壬生野サッカースクールの子どもたちです。

このスクールは、小学校1~6年生の児童を対象に「サッカーの正しい技術を伝え、あわせて望ましい仲間づくりと健全な心身の発達を促す。」ことを目標としています。選手強化ではなく、サッカーを楽しむことを主としており、性別、体力、技術による入校制限はしていません。

先日行われた阿山地域の新人戦では、3位に入賞、来シーズンに向けてがんばっています。



## ■ 春日神社の獅子神楽 ■

毎年、恒例となっている獅子神楽の舞い初めが1月2日川東に鎮座の春日神社にて行われました。

春日神社の獅子神楽は、この舞い初めのほか、2月7日の厄除け獅子神楽奉納、4月16日の例大祭、10月後半の例祭(20日に直近の日曜日)の年4回奉納されています。

この獅子神楽は春日神社獅子神楽保存会にて伝統継承され、伊賀市無形民俗文化財に指定されています。また、この舞は春日神社氏子青年会の獅子神楽部員によって奉納されています。

